

福島第一原子力発電所構内の線量状況について

2026年4月23日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. エリアの線量率測定

－実施概要－

福島第一原子力発電所構内の線量率を詳細に把握するため、エリアを1辺30m四方のメッシュ状に区切り、約3,800箇所について、2025年度～2028年度にかけて線量率の測定を実施する。

2025年度測定エリア

測定エリア①

1～4号機周辺
(2026.1 測定)
※前回、2025.1 測定

測定エリア②

1～4号機法面
(2026.1 測定)
※前回、2021.10 測定

測定エリア③

免震棟及び多核種除去設備周辺
(2026.2 測定)
※前回、2021.10 測定

測定エリア④

固体廃棄物貯蔵庫周辺
(2025.11 測定)
※前回、2021.12 測定

提供：日本スペースイメージング(株)
(C)DigitalGlobe

： 毎年測定

： 2025年度測定

： 2026年度測定

： 2027年度測定

： 2028年度測定

1. エリアの線量率測定

- 1～4号機周辺（測定エリア①）の線量率 -

1～4号機周辺の地表面からの高さ1mの平均線量率は、2.5m盤、8.5m盤、共に2024年度と同程度であった。

■ 平均線量率

< 2.5m盤 > 【約90箇所】

単位：[μSv/h]

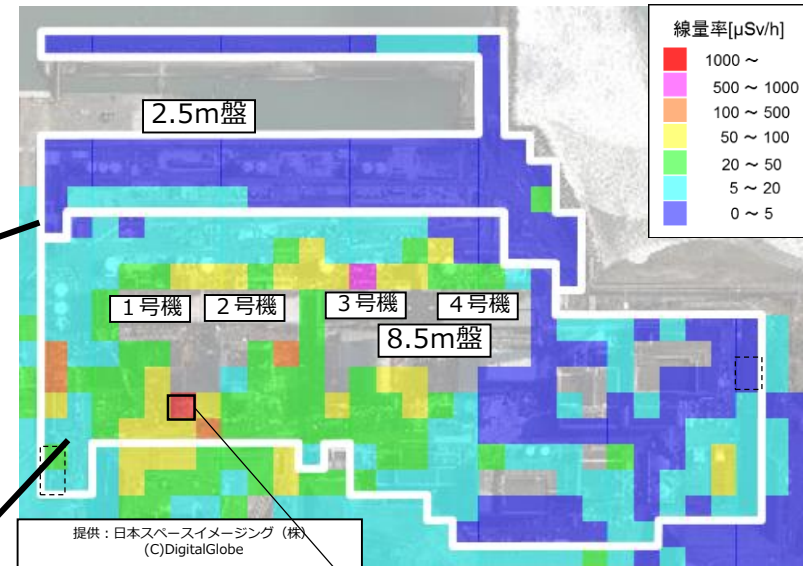
測定年度（測定日）	地表面から1m高さ	【参考】 地表面※1 (リメット)	線量低減に寄与したと考えられる 主要な工事
2022年度 (2022.12)	6.7	1.9	特になし
2023年度 (2023.11)	6.4	2.0	
2024年度 (2025.1)	3.7	1.0	
2025年度 (2026.1)	3.7	1.0	

< 8.5m盤 > 【約210箇所】

単位：[μSv/h]

測定年度（測定日）	地表面から1m高さ	【参考】 地表面※1 (リメット)	線量低減に寄与したと考えられる 主要な工事
2022年度 (2022.12)	53	18	特になし
2023年度 (2023.11)	60	17	
2024年度 (2025.1)	31	8.7	
2025年度 (2026.1)	33	7.8	

■ 線量分布



1,2号排気塔近傍

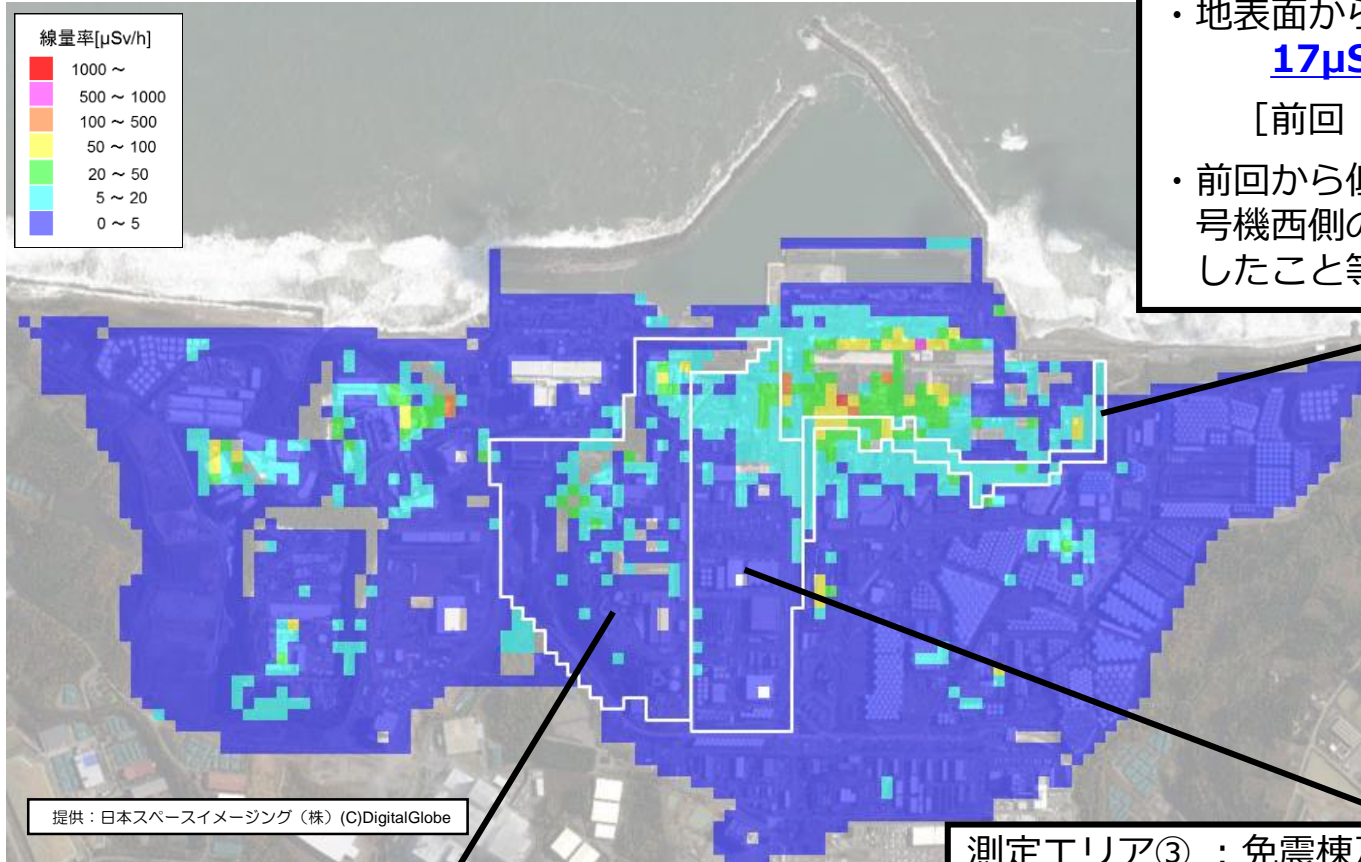
※1 地表面（リメット）：プラントからの散乱線等の影響がある場所について、線量低減効果を確認するため、地表面（地表面から1cm程度）をリメットして測定。

なお、図中の点線で囲った箇所は、工事による立ち入り規制で測定点にアクセス出来なかったため、前回の測定値を採用

1. エリアの線量率測定

－ 1～4号機周辺以外（測定エリア②、③及び④）の線量率－

<線量分布（30mメッシュ：胸元高さ）>



測定エリア②： 1～4号機法面
・ 地表面からの高さ1mの平均線量率：
17μSv/h (2026.1)
[前回：25μSv/h (2021.10)]
・ 前回から低下した要因として、1～4号機西側のエリアにあった瓦礫を撤去したこと等が考えられる。

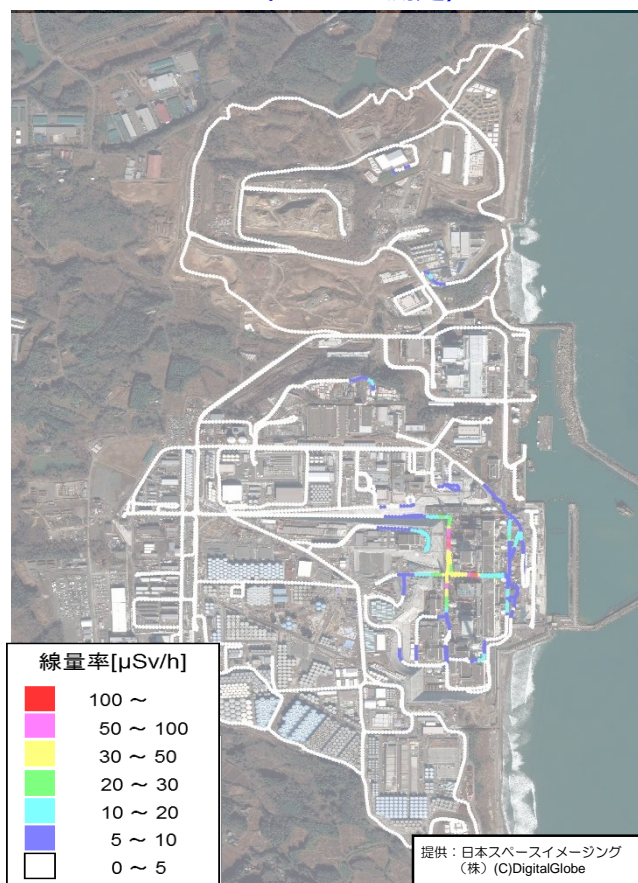
測定エリア③： 免震棟及び多核種除去設備周辺
・ 地表面からの高さ1mの平均線量率：
4.4μSv/h (2026.2)
[前回：5.6μSv/h (2021/10)]
・ 前回から低下した要因として、当該エリアの造成工事にて、盛土や整地を行ったこと等が考えられる。

測定エリア④： 固体廃棄物貯蔵庫周辺
・ 地表面からの高さ1mの平均線量率：
4.5μSv/h (2025.11)
[前回：7.0μSv/h (2021.12)]
・ 前回から低下した要因として、当該エリアの造成工事にて、盛土や整地を行ったこと等が考えられる。

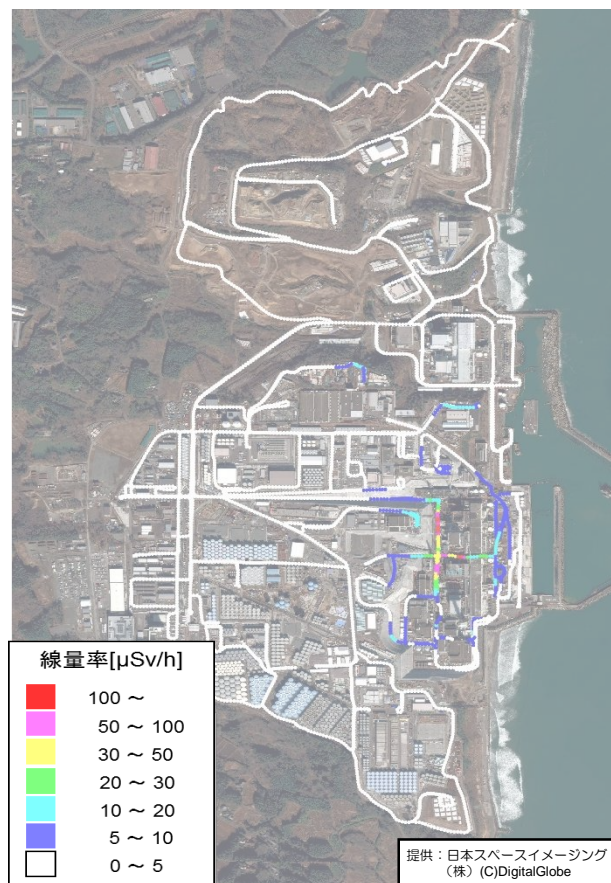
2. 構内主要道路の線量率の状況

構内主要道路については、四半期に1度、走行サーベイ※¹により線量率の状況を確認している。昨年度と比較すると、顕著な変動は、無かった。

<2024年度 第4四半期>
(2025.3 測定)



<2025年度 第4四半期>
(2026.2 測定)



※ 1
車両に線量率測定器を
搭載し、同時に位置情
報を自動的に記録する
ことで走行しながら線
量率を確認